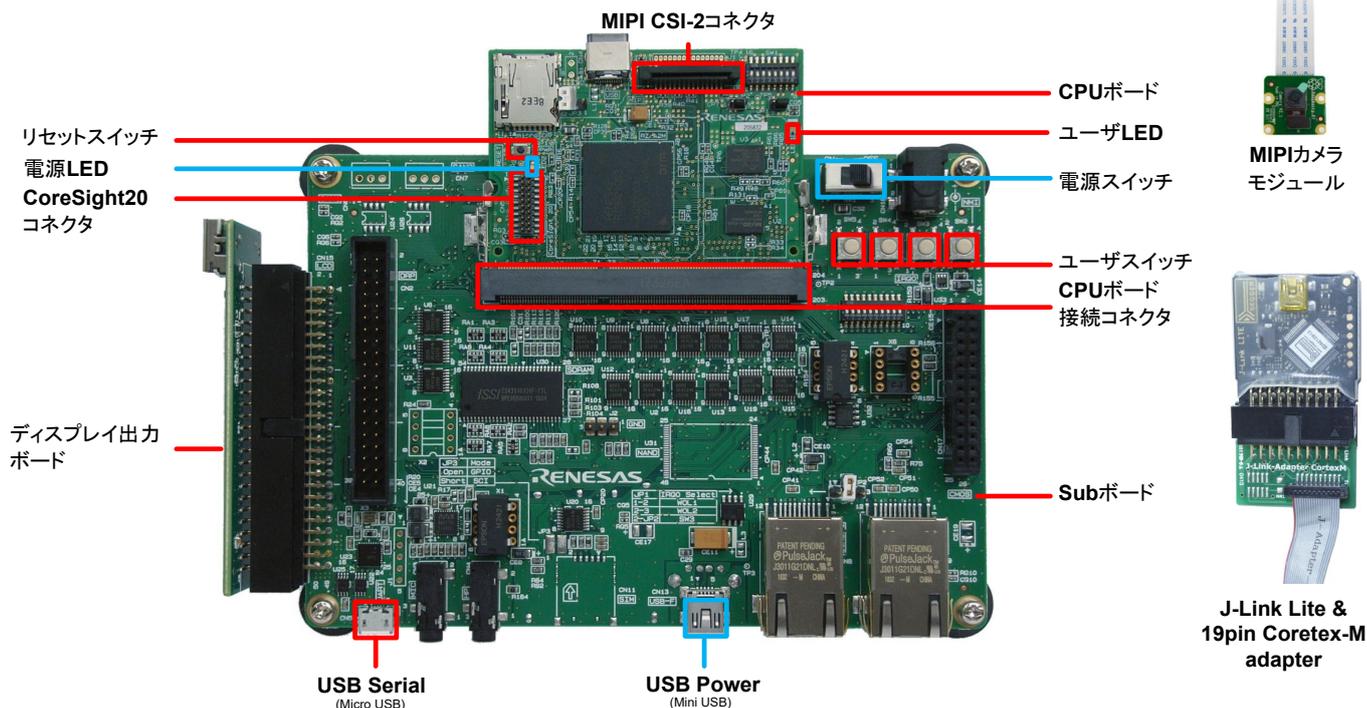


Quick Start Renesas Evaluation Board Kit for RZ/A2M



RENESAS

注: このクイックスタートガイドでは、e² studio IDE のインストールについて説明します。

(e² studio IDE バージョン 7.3.0 以降が必要な場合は、<https://www.renesas.com/e2studio> より入手可能)

インストーラをダウンロードするには、インターネットに接続が必要です。

1. インストール

ソフトウェアサポートがインストールされるまでは、デバッグモジュールを接続しないでください。また、インストール作業中にインターネットに接続する必要があります。

1. 本 Renesas Evaluation Board Kit のソフトウェアは、以下よりダウンロード可能です。

<https://www.renesas.com/rza2mevb>

2. ダウンロード後、インストーラを実行すると、ウェルカムダイアログボックスが表示されます。画面の指示に従って IDE ソフトウェアをインストールし、プロンプトが表示されたら RZ デバイスファミリーを選択します。この処理には数分かかります。

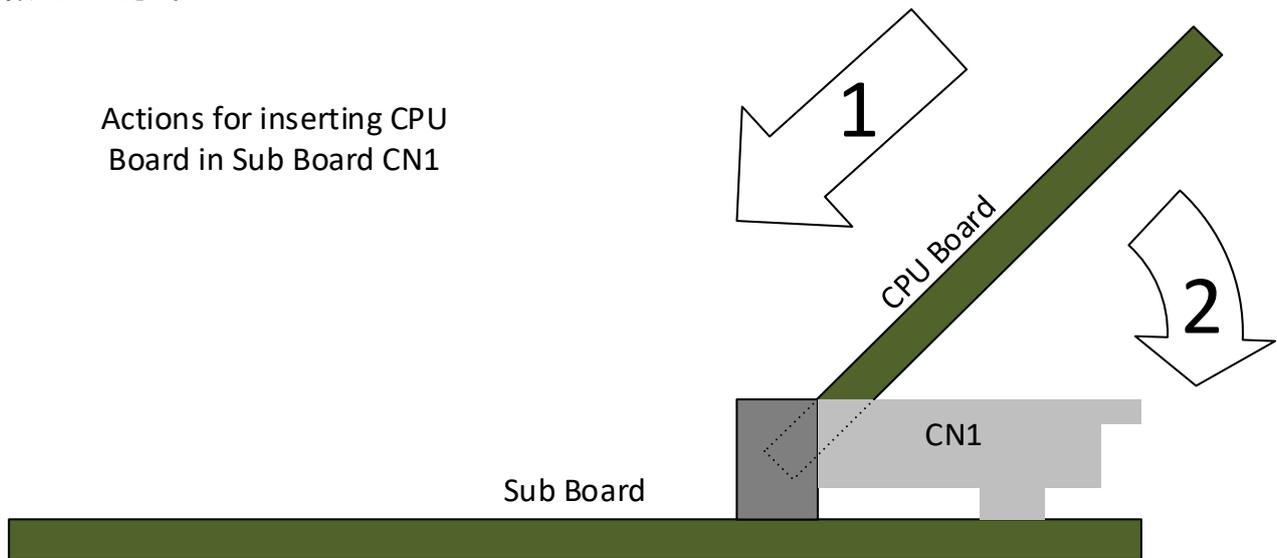
注意:

Windows™ 10 / 8.1 / 8 / 7 をお使いの場合は、User Account Control ダイアログボックスが表示されることがあります。該当する場合は、管理者パスワードを入力して「はい」をクリックします。Windows™ ドライバ署名ダイアログボックスが表示されることがあります。続行するにはドライバを受け入れてください。

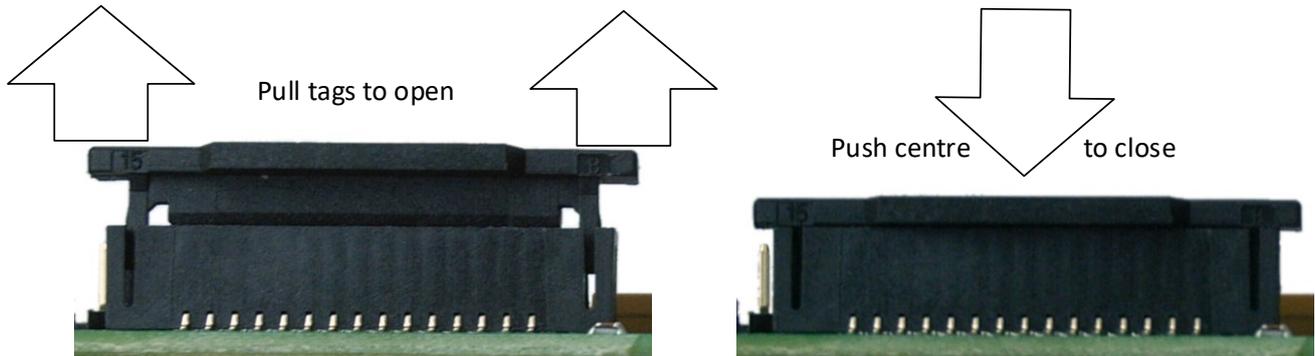
ルネサスの信頼証明書ダイアログボックスが表示される場合があります。該当する場合は、証明書を信頼するためのチェックボックスを選択します。

2. 準備

- 204ピンコネクタを使って CPU ボードを Sub ボードに接続します(キースロットは中央の左側にあります)。CPU ボードを水平に回転させてからクランプがボードを所定の位置にロックするまで、CPU ボードを水平から約 45 度の向きに傾けたまま CPU ボードをソケットに挿入してください。



- ディスプレイ出力ボードを正しい向きに合わせて Sub ボードのディスプレイコネクタ(CN15 LCD)に接続します。
- 別売のモニターケーブルを準備して、ディスプレイ出力ボードを外付けモニターに接続します。モニターの解像度は 800x600 に設定してください。
- カメラモジュールを CPU ボードのカメラコネクタ(CN2 MIPI)に接続します。両側のタグを引き上げてコネクタを開き、カメラのリボンケーブルを挿入します。リボンケーブルの接点が CPU に面しており、かつ青色の絶縁された長方形が外側に向くのが正しい方向になります。ケーブルをしっかりと固定するには、コネクタの上部を所定の位置にクリップするまで押し下げます。



- リボンケーブルを使用して J-Link Lite を CPU ボード上のデバッグコネクタ(CN5 Coresight 20)に接続します。ピン 1(赤い線)が PCB のシルク印字の三角マーク(▲)と合っていることを確認します。
- J-Link Lite を Host PC の USB ポートに接続します。J-Link Lite 上の緑色 LED が点灯します。
- J-Link Lite 用のドライバがインストールされます。これには 1 分ほどかかる場合があります、管理者権限が必要になります。

Windows™ 7

「デバイスドライバソフトウェアが正常にインストールされました」ポップアップが Windows™ のタスクバーに表示され、インストールが完了します。

Windows™ 8.1 / 8

Windows™ のタスクバーにアイコンが表示され、インストールが完了します

Windows™ 10

Windows™ のタスクバーに「デバイス設定」のタスクバーボタンが表示され、インストールが完了します。

RZ/A1, A2 の評価ボードキットでご存知のように Segger 社の J-Link LITE を同梱していますが、この J-Link は付随の評価ボード向けであり、それ以外のボードの評価や製品開発は使用できません。

10. Sub ボード上のマイクロ USB シリアルコネクタ(CN5 UART)とホスト PC の USB ポートの間に USB ケーブルを接続します。デバイスマネージャのポート(COM&LPT)→通信ポート(COMn)の下に "RZA USB Serial Port"と表示されます。Sub ボード上のマイクロ USB シリアルコネクタ(CN5 UART)を使用して、サンプルアプリケーション用のシリアルコンソールを提供することができます。本製品を初めて使用する場合や「不明なデバイス」として表示される場合は、ボードを外して「RZ/A2M Evaluation Board Kit USB シリアル変換 IC 用 inf ファイル」を下記 URL よりダウンロードし、インストールしてください。
<https://www.renesas.com/jp/ja/software/D6002723.html>
 - a. 注: Windows™ 10 / 8.1 / 8/7 ユーザーは、「ユーザーアカウント制御」ダイアログボックスを表示することがあります。該当する場合は、管理者パスワードを入力して「はい」をクリックします。
 - b. Windows™ ドライバ署名ダイアログボックスが表示されることがあります。続行するにはドライバを受け入れてください。
11. シリアル端末ソフト(ハイパーターミナル、Tera Term、PuTTY など)を使用し、適切な COM ポートを選択し、ボーレートを 115200 bps、データビットを 8、ストップビットを 1、パリティを None、フローを None に設定します。
12. Sub ボード上のミニ USB コネクタ(CN13 USB-F)とホスト PC の USB ポートの間に USB ケーブルを接続します。
13. Sub ボードの電源スイッチ SW1 を OFF 側から ON 側にして電源を入れます。CPU ボード上の青色の電源 LED が点灯します。
14. Sub ボードの電源スイッチ SW1 を ON 側から OFF 側に戻し、システムの電源を切ります。

3. e² studio 開発環境の準備

e² studio は、コンパイラ、アセンブラ、デバッガ、エディタなどの各種ツールを共通のグラフィカルユーザインタフェースに統合したルネサス統合開発環境です。

15. e² studio を開始してください。

Windows™ 7: スタートメニュー > すべてのプログラム > Renesas Electronics e2studio > e2 studio

Windows™ 8.1 & 8:  をクリックして、[アプリ] ビューを表示 > Renesas Electronics e2studio > e2 studio

Windows™ 10: スタートメニュー > すべてのアプリ > Renesas Electronics e2studio > e2 studio

16. 表示される「ワークスペースの選択」フォルダで、適切な場所とフォルダ名を参照して、新しいワークスペースを保存します。[OK]をクリックして続行します。
17. 「Toolchain Integration」ダイアログボックスで、Renesas Toolchains を選択し、「GCC ARM Embedded 6.3.1.20170620」が選択されていることを確認します。[登録]をクリックします。ダイアログボックスに「選択されたツールチェーンは e² studio と正常に登録されました」と表示されます。[OK]をクリックします。
18. 「コード生成の登録」ダイアログボックスが表示された場合、[OK]をクリックしてコード生成を登録してください。コード生成を利用するためには e² studio の再起動が必要です。
19. e² studio の使用方法の詳細については、ヘルプ>ヘルプの目次を使用してプログラムのヘルプファイルを開きます。

4. 次のステップ

20. e² studio のウェルカム画面で、右端の「Workbench」矢印アイコンをクリックします。RZ/A2M Simple Applications Package (R01AN4494JJ) からアプリケーションをダウンロードしてプログラミングする準備が整いました。
21. 使用可能なアプリケーションノートの 1 つを選択し、Readme ファイルの指示に従って、電源を入れる前に正しいスイッチとジャンパ設定を行ってください。

確認のための推奨サンプル:

- 800x600 の入力をサポートするディスプレイをお持ちの場合は、camera_display_sample(R01AN4477JJ)をお試しください。
- 製品をすぐに動かしてみたい場合は、blinky_osfree_sample(R01AN4321JJ)をお試しください。

5. GNU ARM コンパイラ

e² studio に付属しているコンパイラバージョンはすべての機能をサポートしています。

6. 製品マニュアル

本製品のユーザーズマニュアルは以下の URL より入手可能です。

<https://www.renesas.com/rza2mevb>

- RZ/A2M グループ ユーザーズマニュアル ハードウェア編 (R01UH0746JJ)
- RZ/A2M CPU ボード ユーザーズマニュアル (R20UT4397JJ)
- RZ/A2M Sub ボード ユーザーズマニュアル (R20UT4398JJ)

7. Support

オンラインによるテクニカルサポートと情報は下記にアクセスください。 <https://www.renesas.com/rza2mevb>

日本、グローバルサイト: <https://www.renesas.com/support/contact.html>

© 2018-2019 Renesas Electronics Europe GmbH. All rights reserved.

© 2018-2019 Renesas Electronics Corporation. All rights reserved.

Website: <https://www.renesas.com/>